

令和2年12月28日

令和2年仕事納めの挨拶

議長 結城 弘明

令和2年の仕事納めに当たり議会を代表し、一言ご挨拶を申し上げます。

本年は、地球温暖化や環境の激変による未曾有の災害、国内外のリーダー交替等による政治経済の変容、東京2020オリンピック・パラリンピックの延期決定など、めまぐるしい年でありました。今後、国内外の変化にアンテナを高くし、緊張感をもって対応することが求められます。

特筆すべきは、年明けに勃発した世界共通災害である新型コロナウイルス感染症が挙げられますが、これは人類への挑戦であります。人間社会の常識を覆した変化は、終息も見通せない中での戦いではありますが、今後ワクチンの普及・効果が期待されるところであります。

皆様方には、通常業務に加え、感染防止策や支援策を積極的に遂行されたことに対し、感謝申し上げます。

コロナ禍においても、幸い議会における審議は、通常どおり運営することができました。皆様方におかれましては、本会議における丁寧な答弁、また、委員会審査における莫大な資料の提供など、ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

昨今の委員会審査では、委員の質疑に対し、現場現物を大切にし、具体的、定量的な分析に基づき回答する若い職員が多くなったと感じております。若手職員の更なる成長、また、組織としての職員力向上に期待をしております。

さて、通常どおり議会審議ができた一方、視察や情報交換といった他地方議会との交流は通常どおりとはいかず、その代わり新たにオンラインによる交流が生まれました。議会は当然ながら今後も「開かれた議会」をめざし、ネット配信等の更なる拡充や新たな取組を行いながら、市民への「見える化」を推進してまいります。

一方、職員の皆様方も、オンライン会議、在宅勤務や分散勤務、時差出勤等の新たな業務の在り方、また、働き方を考える一年であったことと思います。ウィズコロナ、アフターコロナ時代に対応していくため、さらに新たな取組が生まれ、社会全体として定着していくことと思われませんが、これら環境変化への対応力がますます求められるところです。

結びに、激動の一年を乗り切られた皆様方に感謝申し上げるとともに、新年を迎えるに当たり、ご家族とよいお正月をお過ごしになられることをご祈念申し上げ、挨拶といたします。